



図書だより 6月号



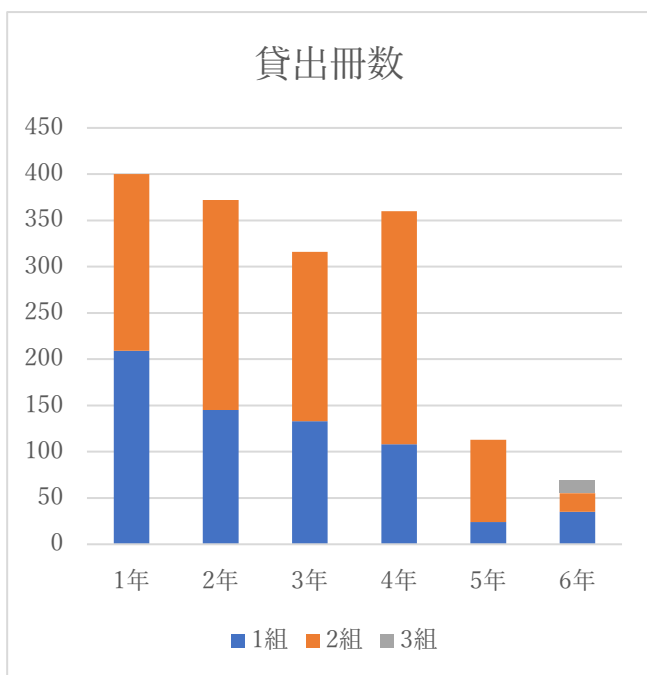
～あめ ひ ほん せかい 雨の日こそ本の世界へ～

6月といえば梅雨。外で遊べない日が増えてきますが、そんな時こそ本の世界を

楽しんでみませんか？雨音をBGMに読書するのも、なかなかステキな時間です。

図書室には、季節の本や子ども新聞がたくさんあるので、ぜひ読んでみてください。

5月の貸出ランキング



5月の1位は 1年生で400冊でした！

また、クラス別では 4-2が252冊で

1番多く借りていました。

5月は運動会練習があり、いそがしい日

が続きましたが、空いた時間に図書室を

利用してくれる人がたくさんいたように

思います。

6月は高学年のみなさんも読書に

チャレンジしてみましょう！

～6月の本にまつわる豆知識 読書の梅雨～

むかしの人たちは、雨の日にゆっくりとお話を読んだり、ものがたりを書いたりして

過ごしていました。だから「読書の梅雨」という言葉もあるんですよ！

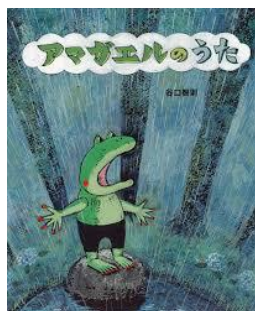
日本には雨をあらわす言葉がたくさんあります。

「しとしと」「ぽつぽつ」「ざあざあ」など、全部少しずつちがいます。

雨が出てくるお話はたくさんあるので、ぜひ図書室で探してみてくださいね！



こんげつ ほん 今月のおすすめの本



ていがくねんむ
低学年向け

『アマガエルのうた』 作：谷口智則

アマガエルのくらしや、自然のようすが、やさしい言葉と
きれいな絵でかかれた絵本です。読んでみると、命の大切さを感じ、
まわりの自然をもっと大事にしたいと思います。



ちゅうがくねんむ
中学年向け

『ふるふるひめ』 作：大窪いく子 絵：山本祐司

雨をふらせることができる、かわいいひめさまのお話です。
やさしさや思いやりの心が伝わってきて、読んだあとに心がぽかぽ
かあたたかくなります。



こうがくねんむ
高学年向け

『水の精とふしぎなカヌー』 作・絵：岡田 淳

ふしぎなカヌーに乗って、水の精と旅をするお話です。
旅の中で出会う景色や出来事を通して、水や自然の大切さを
やさしく教えてくれる本です。



先生のおすすめ

4-2担任 宮本先生より

『かみはこんなにくちゃくちゃだけど』
ヨシタケシンスケ

くすっと笑えるおもしろエピソードが
いっぱい！一度読んだ後、終わりから
読むとあらふしぎ、とっても前向きな
気持ちになれます。

ぜひ読んでみてください！



おしらせとおねがい

・6月のはじめに、新しく買う本を選ぶ
「選書会」があります。また新しい本がたく
さん入るので楽しみにしてください。
・最近本が違うところに入っていたり、
向きがバラバラになっていたりします。
本を返すときは、背表紙が見えるように
して、もとあった場所にもどすように
しましょう。